

J K F S (K J F S) 第 1 回理事会

2005/03/17 P M 17:00 ~ 20:30

於「太平楼」横浜中華街

司会・・・・・・・・・・しまおか こういち氏

0, 自己紹介・・・・・・・・初参加の理事を中心に

1, 報告事項(代表より)

1) J F K S 設立過程、心境の説明

しまおか氏 H P 上の日記に詳細が記載されているため、ここでは割愛

<http://plaza.rakuten.co.jp/hikaru2004/diary/200501140000/>

<http://plaza.rakuten.co.jp/hikaru2004/diary/200501150000/>

<http://plaza.rakuten.co.jp/hikaru2004/diary/200501170000/>

2) 3月17日現在の会計報告

地震・津波災害への義捐金	19万2千円
J F K S 運営資金	2万円

募金活動報告

非常に多くの方々から、(時に全くの気づ知らずの方から)お金が集まっている

3) H P の作成・紹介

<http://www5e.biglobe.ne.jp/~shimaoka/jkfs.htm>

4) 入会状況説明

5) その他

- ・ソーシャルネット・ワーキングサイト mixi に「ケララ日本友好協会」コミュニティ作成、既にコミュニティ参加者があった(中山)
- ・ケララに関連する著書をお持ちの山田真美さんの紹介(しまおか氏)
- ・参考になる活動をしている N G O の紹介(三谷さん)

3, 協議

1, 義捐金の取り扱いについて

小林ふみえさんからの提案

- ・ケララにおける地震・津波の被害は軽微であった、それにも関わらず多くの支援物資が届いている。 **支援物資の必要性が低い**

・義捐金・物資を巡る中間搾取が発生している疑いがある。

義捐金・物資が被災者に届かない可能性が高い

以上のことから...

集まったお金は、津波の被害者への義捐金としてではなく、貧困が原因で上級学校に進学出来ない子どもへの奨学金として使ってはどうか



話し合いの結果・決定事項

今回の地震・津波被災者の奨学金として使う、

それが難しい場合は、その他貧困者への支援・奨学金として使う

出資者には、義捐金の用途変更の必要性・可能性を説明、希望者には返金に応じる

4月17日までの一ヶ月間を返信期間として設け、それまでに返金希望の連絡が無い場合は、承認して頂いたと見なす

2、活動資金について

ある方から用途を、K J F Sの活動資金と限定して、毎月5千円ずつ出資して頂いている。この、お金をどのように使うべきか



話し合いの結果・決定事項

ある理事が預かっている寄付品（文房具）をケララに送る送料として使う

今後我々の活動にかかる諸経費もここから捻出する

3、今後の活動について

話し合いの結果・決定事項

ケララ勉強会を開こう！（出来れば6月）

政治・経済分野担当 しまおか氏 政治・文化・教育分野 中山

日本在住のケララ研究者、作家などに講演の依頼をしよう

ケララスタディツアーは9月に決行しよう！

マラヤラム語学習会へ向けて、マラヤラム語の先生（在日ケララ人）を探そう！

4、新役員を選出（確認）

理事長：しまおか こういち

副理事長：佐藤京子

事務長：中山利子

理事（渉外・会場）：三谷光子

理事：谷本多美子

理事（HP・会計）：李東源

理事（ドミニカ共和国支部長）：名執俊忠

理事（東京支部長）：古濱有彦